

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 5 8	札幌医科大学医学部薬理学講座
題名 (原題/訳)	
<p>Association between dopamine receptor D1 gene <i>DdeI</i> polymorphism and sensation seeking in alcohol-dependent men.</p> <p>男性アルコール依存症患者での D1 ドパミン受容体遺伝子 <i>DdeI</i> の遺伝子多型と刺激欲求との関連</p>	
執筆者	
Limosin F, Loze JY, Rouillon F, Ades J, Gorwood P.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Alcohol Clin Exp Res. 27(8):1226-1228 (2003)	
キーワード	
アルコール依存症、D1 ドパミン受容体遺伝子、刺激欲求	
要 旨	
<p>背景: アルコール依存症の発病に関与している遺伝的で生物精神学的な要因のなかで、ドパミン受容体サブタイプの遺伝子と刺激欲求のような基質様式が、発病の原因として特に関係していると考えられている。さらに、刺激欲求の程度はシナプス後膜ドパミン受容体の感受性調節に関係している可能性が高い。</p> <p>方法: 本研究で我々はドパミン D1 受容体(DRD1)遺伝子 <i>DdeI</i> の遺伝子多型が刺激欲求の程度と関連しているか、72 人の男性・女性アルコール依存症患者について検討した。遺伝子多型と、40 項目の Zuckerman 尺度に従った刺激欲求尺度との関連は分散分析で検討した。</p> <p>結果: DRD1 <i>DdeI</i> の遺伝子型を Zuckerman 尺度を検討した結果、男性患者で有意な関連が得られた(p=0.01)。</p> <p>結論: 本論文の報告は、アルコール依存症患者で D1 ドパミン受容体遺伝子多型と刺激欲求尺度とに(男性に限定された)関連があることについて最初のものである。今後、健常者とアルコール依存症者との比較研究が必要とされる。</p>	